

2023年度 第1回 WEBアンケート 調査報告書

1 「環境配慮行動」

環境局環境保全部環境総務課

2 「身近な水環境・生物多様性の保全」

環境局環境保全部環境保全課

3 「地域福祉」

保健福祉局健康福祉部地域福祉課

4 「在宅での家族介護に対する意識」

保健福祉局高齢障害部高齢福祉課

市民局市民自治推進部広報広聴課

目次

WEBアンケート調査結果

	ページ
・ 概要 1
・ 「環境配慮行動」 2
・ 「身近な水環境・生物多様性の保全」 6
・ 「地域福祉」 9
・ 「在宅での家族介護に対する意識」 11
・ その他 13

回答者属性

回答者数	1,606人
------	--------

性別		
男性	755	47.0%
女性	817	50.9%
その他	11	0.7%
未回答	23	1.4%

職業		
会社員	501	31.2%
自営・自由業	71	4.4%
パート・アルバイト	286	17.8%
公務員	72	4.5%
学生	52	3.2%
専業主婦・主夫	291	18.1%
無職	289	18.0%
その他	44	2.7%

年代		
10代以下	33	2.1%
20代	63	3.9%
30代	167	10.4%
40代	297	18.5%
50代	436	27.1%
60代	338	21.0%
70代以上	272	16.9%

居住区		
中央区	283	17.6%
花見川区	227	14.1%
稲毛区	275	17.1%
若葉区	131	8.2%
緑区	201	12.5%
美浜区	409	25.5%
市内在勤・在学	80	5.0%

令和5年度 第1回

調査名	「環境配慮行動」「身近な水環境・生物多様性の保全」「地域福祉」「在宅での家族介護に対する意識」
調査期間	令和5年4月1日(土)午前9時～4月10日(月)午後5時

概要:

<p>1.環境配慮行動 令和4年3月に「千葉市環境基本計画」を策定しました。これらに関わる「環境配慮行動」について、皆様の実施状況をお聞かせいただき、環境に関する施策・事業等の参考とさせていただきます。</p> <p>2.身近な水環境・生物多様性の保全 身近な水環境※1や、生物多様性※2に対する意識や考え方等をお聞かせいただき、「千葉市水環境・生物多様性保全計画」(令和5年3月まで「千葉市水環境保全計画」)の推進状況を把握する指標の一つとして活用させていただきます。 ※1 水質・水量・水生生物・水辺地の要素から構成されている、環境の状態。 ※2 すべての生物の間に違いがあることであり、3つのレベルで多様性があること。具体的には、森林や谷津田、河川など色々なタイプの生態系がある「生態系の多様性」、人も含め、動物や植物など色々な生き物(種)が生息・生育している「種の多様性」、同じ種でも異なる遺伝子を持っていることで姿や形などが異なっている「遺伝子の多様性」がある。 □</p> <p>3.地域福祉 「地域福祉」に対する皆様の考え方や行動をお聞かせいただき、今後の施策を検討するための参考とさせていただきます。</p> <p>4.在宅での家族介護に対する意識 在宅での家族介護に対する意識をお聞かせいただき、家族介護者を支援するための制度設計の参考とさせていただきます。</p>
--

参考URL

https://www.city.chiba.jp/kankyo/kankyohozen/somu/kihonkeikak.html
https://www.city.chiba.jp/kankyo/kankyohozen/hozen/mizu.html
https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/kenkofukushi/chiikifukushi/dai5kikeikaku.html
https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/koreishogai/korei/kazokukaigo-lesson.html

Q1-1: はじめに、「環境配慮行動」についてお聞きます。
 まずは、次の画像をご覧ください。2022年3月に策定した「千葉市環境基本計画」では、5つの「環境の柱」を定めています。



Q1-2: 地球温暖化対策※1に関してあなたが実践した(している)取組みを教えてください。
 ※1 2つの対策があり、1つ目は温室効果ガスの排出をできるだけ抑制する「緩和」と、2つ目は避けられない気候変動の影響に対して、被害を回避・低減する「適応」である。これらの総合的な推進による脱炭素型の社会が求められている。
 [選択肢補足]
 ※2 太陽光・風力・地熱・中小水力・バイオマスといった再生可能エネルギーを用いて発電した電気。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,606]

外に出る時は、日傘、帽子など暑さ対策をしている	983	61.2%
熱中症に備え、天気予報を見たり、熱中症警戒アラートなどの情報を確認している	847	52.7%
省エネ性能の高い家電(LED・給湯器など)へ買い換えた	820	51.1%
車の使用を控え、公共交通機関や自転車・徒歩で移動している	781	48.6%
災害に対して理解と関心を持ち、日ごろから準備している	601	37.4%
断熱性の高い厚手のカーテンへの交換や窓枠の改修をした	299	18.6%
燃料電池自動車(FCV)、電気自動車(EV)、ハイブリッド自動車(HV・PHV)などの環境にやさしい自動車を利用している	255	15.9%
省エネ住宅(高断熱住宅など)への住み替え・リフォームを行った	145	9.0%
再生可能エネルギーを利用(太陽光発電等)している・再エネ電気(※2)に切り替えた	124	7.7%
特に取り組んでいることはない	87	5.4%
その他()※50字以内	25	1.6%

- Q2: 3R(リデュース、リユース、リサイクル)※3やごみの適正処理に関してあなたが実践した(している)取組みを教えてください。
 ※3 ごみを減らすこと(リデュース)。次に、一度使ったものを捨てずに繰り返し使うこと(リユース)。それでも生じてしまった場合は再生利用(リサイクル)。
 [選択肢補足]
 ※4 携帯できる箸、スプーン、フォーク。
 ※5 ビール瓶や牛乳瓶など、洗浄して繰り返し使われる容器。

(いくつでも)(入力必須)	[n=1,606]	
繰り返し使用することができるマイバッグ、マイボトル(※4)、マイボトルを利用している	1,267	78.9%
ごみの分別を徹底し、ごみ出しのルールを守っている	1,216	75.7%
「食べキリ、使いキリ、水キリ」をすることにより生ごみを削減している	968	60.3%
詰替え可能な商品を利用している	911	56.7%
たばこの吸い殻や空き缶などを投げ捨てないなどマナーを守っている	765	47.6%
先のことを考えて製品を選択・購入し長く使用している	653	40.7%
過剰包装を辞退している	641	39.9%
違法なごみの野外焼却を行っていない	638	39.7%
簡易包装された商品を選択している	534	33.3%
積極的に資源の集団回収や地域のリサイクル活動に参加している	524	32.6%
不要となった製品はフリーマーケットなどで再利用に努めている	417	26.0%
再生品を積極的に利用している	280	17.4%
地域の清掃活動に積極的に参加している	214	13.3%
リターナブル容器(※5)を利用している	133	8.3%
特に取り組んでいることはない	24	1.5%
その他()※50字以内	16	1.0%

- Q3: 自然環境の保全※6に関してあなたが実践した(している)取組みを教えてください。
 ※6 本市は都市部にありながら、多くの野生動植物が生息・生育する谷津田・里山をはじめ豊かな緑と水辺などを有しており、自然と調和・共存し、緑と水辺の良好で多様な環境を次世代に引き継ぐことが求められている。
 [選択肢補足]
 ※7 宅地などに降った雨水を地面に浸透させる設備。

(いくつでも)(入力必須)	[n=1,606]	
ポイ捨てをしないなど、都市生活のマナーの向上に努めている	1,179	73.4%
身の回りの緑や水辺、生き物を大切にしている	816	50.8%
鳥や獣など野生生物に餌やりをしない	795	49.5%
地産地消を心がけ、地域の農業を支援している	558	34.7%
生き物を飼う場合は、最後まで捨てずに責任を持ち、その種にあった適切な方法で飼育している	548	34.1%
庭の植樹や生け垣づくり、ベランダの緑化などに努めている	506	31.5%
身近な緑地などの保全に関心を持っている	454	28.3%
生物多様性について学び、自然の持っている役割の理解に努めている	374	23.3%
地域での環境美化活動に取り組んでいる	215	13.4%
市内にある歴史的遺産について学び、保全活動に取り組んでいる	92	5.7%
市民農園などを活用し、農作業などを体験している	85	5.3%
特定外来生物を発見した際は、市のホームページで情報収集し、適切な対応をとっている	74	4.6%
自然観察会などのイベントに積極的に参加している	58	3.6%
雨水浸透ます(※7)などを設置し、地下水が蓄えられるように努めている	54	3.4%
「花いっぱい市民活動」などに参加し、花のあふれるまちづくりに協力している	41	2.6%
特に取り組んでいることはない	77	4.8%
その他()※50字以内	7	0.4%

- Q4: 健やかで快適に安心して暮らし続けられる環境を守るために、あなたが実践した(している)取り組んでいることを教えてください。
 [選択肢補足]
 ※8 光化学オキシダントやPM2.5等の大気汚染原因物質。
 ※9 宅地などに降った雨水を地面に浸透させる設備。

(いくつでも)(入力必須)	[n=1,606]	
使用済みの油や調理くずなどを下水に流さないように工夫している	951	59.2%
徒歩や自転車、公共交通機関の利用を優先し自家用車の利用を控えている	910	56.7%
生活騒音や臭いなどで近隣に迷惑をかけないように配慮している	830	51.7%
自動車を運転する際はエコドライブを心がけている	687	42.8%
不要な薬品を地面に撒いたり、側溝に流さないようにしている	634	39.5%
化学物質が使用されている製品の使用や廃棄は、パッケージに記載されている注意事項に従い適切に行っている	438	27.3%
除草剤等をできるだけ使用しないようにしている	378	23.5%
自動車の購入の際は低公害車を選択した(している)	333	20.7%
スプレー缶・塗料などを購入する際は揮発性有機化合物(VOC)※8の少ない製品を選んでいる	192	12.0%
水辺を守る意識を高め、身近な河川などの清掃運動に参加している	58	3.6%
(浄化槽を使用している方のみ)保守点検・清掃・法定検査を定期的に受けるなど浄化槽の適正な維持管理に努めている	54	3.4%
雨水浸透ます(※9)を設置し、地下水が蓄えられるように努めている	42	2.6%
地下水を枯れさせないために井戸水を汲み上げすぎないように注意している	23	1.4%
(下水道未整備地域の方のみ)合併処理浄化槽を設置している	13	0.8%
特に取り組んでいることはない	70	4.4%
その他()※50字以内	6	0.4%

- Q5: みんなで環境の保全・創造に取り組むことが重要とされているなか、環境教育・学習や地域の環境活動などに関してあなたが実践した(している)取り組みを教えてください。
 [選択肢補足]
 ※10 環境、社会、企業統治に配慮している企業を重視・選別して行う投資。

(いくつでも)(入力必須)	[n=1,606]	
ネットやテレビで情報を得るなどして、環境問題について理解を深めている	914	56.9%
環境に与える負荷の少ない製品などの購入・使用に努めている	616	38.4%
市や民間団体などが発信する環境の保全に関する情報を収集し、環境に対する負荷の少ない生活の実践に努めている	227	14.1%
ESG投資(※10)などに関心を持っている	127	7.9%
学校や地域における環境教育・学習に参加している	98	6.1%
事業者や民間団体などの実施する環境イベントなどに積極的に参加・協力している	88	5.5%
市主催の環境に関する人材育成講座などに参加し、自ら地域や団体の活動を推進している	68	4.2%
市の環境保全活動などに関して提言などを行った	28	1.7%
特に取り組んでいることはない	368	22.9%
その他()※50字以内	11	0.7%

- Q6: 次に、「身近な水環境・生物多様性の保全」についてお聞きします。
「水環境※11」という言葉の意味を知っていましたか。
※11 水質・水量・水生生物・水辺地の要素から構成されている環境の状態。河川や海、谷津田など。

(いくつでも)(入力必須)	[n=1,606]	
河川や海域などの水質であることを知っていた	506	31.5%
河川や海域などにおける水生生物であることを知っていた	373	23.2%
河川や海、谷津田などの水辺地であることを知っていた	362	22.5%
河川や地下水などの水量であることを知っていた	252	15.7%
意味は知らないが、言葉は聞いたことがあった	439	27.3%
聞いたことがない	513	31.9%

- Q7: 本市で一番身近(親しみ)に感じる「水環境」は何ですか。
[選択肢補足]
※12 台地・丘陵地との間の浅い谷で、湧水を利用して営まれる水田のこと。

(いくつでも)(入力必須)	[n=1,606]	
いなげの浜	765	47.6%
花見川	707	44.0%
千葉港	567	35.3%
幕張の浜	552	34.4%
検見川の浜	492	30.6%
都川	266	16.6%
公園の池や水路	259	16.1%
草野水路	175	10.9%
蘇我地区の海辺	125	7.8%
村田川	115	7.2%
谷津田※12	115	7.2%
葎川	100	6.2%
浜田川	99	6.2%
生実川	93	5.8%
坂月川	74	4.6%
支川都川	65	4.0%
湧き水	42	2.6%
浜野川	28	1.7%
鹿島川	24	1.5%
勝田川	19	1.2%
特にない	118	7.3%
その他	8	0.5%

- Q8-1: 次の画像をご覧ください。これは「水循環※13」のイメージ画像です。水環境を保全していくことは、水循環の維持や回復につながります。
 ※13 地表、海面から蒸発した水蒸気が、上空で雲となり、雨となって地表に降り注ぎ、地表に浸み込んで地下水となったり、川を流れて海に至るといったような、水の一連のサイクルのこと。



- Q8-2: 「水循環」という言葉の意味を知っていましたか。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,606]

言葉の意味を知っていた	686	42.7%
意味は知らないが、言葉は聞いたことがあった	492	30.6%
聞いたことがない	428	26.7%

- Q9: 本市の「水環境」に関する問題で、一番気になることは何ですか。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,606]

雨が短時間で集中的に降る	522	32.5%
雨の時に道路や宅地などに大きな水たまりができる	334	20.8%
雨の時に川の水かさが急に増える	172	10.7%
汚く感じる	96	6.0%
匂いが気になる	76	4.7%
特定外来生物が生息している	74	4.6%
地下水が汚れている	53	3.3%
湧き水が少ない	45	2.8%
湿地・湿原(谷津田を含む)が少ない	41	2.6%
地下水の量が減っている	36	2.2%
特にない	149	9.3%
その他	8	0.5%

- Q10: 「水環境」を良くするために、あなたができることは主に何だと思いますか。
 [選択肢補足]
 ※14 かん養域とは、地面をコンクリートで覆わないことにより、雨水が土壤に浸透し地下水が補給される場所のこと。
 ※15 雨水浸透施設とは、屋根に降った雨を集めた「ます」や「排水管」の側面などに穴が空いていて、そこから雨水を地中に浸透させるもの。

(3つまで)(入力必須) [n=1,606]

節水	1,178	73.3%
家庭排水の汚染対策	989	61.6%
雨水利用	313	19.5%
水辺でのごみ拾い	238	14.8%
雨水浸透施設(※15)の設置	97	6.0%
かん養域(※14)の確保	85	5.3%
生き物調査活動(水辺に住む水生生物や水質の調査など)への参加	57	3.5%
谷津田保全活動(刈払いや用水路の整備など)への参加	49	3.1%
特にない	60	3.7%
その他	4	0.2%

- Q11: 水は、生き物の生息・生育には欠かせない生命の源であり、「生物多様性※16」とも関わりの深いものですが、「生物多様性」という言葉の意味を知っていましたか。
 ※16 すべての生物の間に違いがあることであり、3つのレベルで多様性があること。具体的には、森林や谷津田、河川など色々なタイプの生態系がある「生態系の多様性」、人も含め、動物や植物など色々な生き物(種)が生息・生育している「種の多様性」、同じ種でも異なる遺伝子を持っていることで姿や形などが異なっている「遺伝子の多様性」がある。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,606]

生態系の多様性であることを知っていた	785	48.9%
種の多様性であることを知っていた	467	29.1%
遺伝子の多様性であることを知っていた	235	14.6%
意味は知らないが、言葉は聞いたことがあった	448	27.9%
聞いたことがない	275	17.1%

- Q12: 次の取組みは生物多様性を守ることに繋がりますが、現在あなたが実践している取組みを教えてください。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,606]

地産地消を心がけ、地域の食材や旬のものを選んで食べている	911	56.7%
エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を選んで買っている	529	32.9%
自然観察会などのイベントや動物園・植物園などで、自然や生き物にふれあっている	278	17.3%
自然の素晴らしさや季節の移ろいを感じて、写真や絵、文章などで伝えている	210	13.1%
生き物や自然、人や文化との「つながり」を守るため、地域や全国の活動に参加している	123	7.7%
特にない	380	23.7%
その他()※50字以内	8	0.5%

- Q13: 次に、「地域福祉」についてお聞きします。
 今後、あなたやあなたの家族が高齢になったり、病気や事故などで日常生活が不自由となったときに、ご近所や地域活動をしている方々に主に手助けしてほしいことは何ですか。

(3つまで)(入力必須) [n=1,606]

急病や災害時などの手助け	715	44.5%
見守りや安否確認	568	35.4%
通院や買い物等の外出支援	499	31.1%
ちょっとした力仕事の支援(庭木の剪定、大きな家具の移動など)	465	29.0%
買い物代行	348	21.7%
ちょっとした家事支援(ごみ出し、電球の交換など)	312	19.4%
食事づくり	301	18.7%
掃除、洗濯	291	18.1%
日常会話の相手、悩みごとの相談	198	12.3%
その他()※50字以内	13	0.8%
特になし	91	5.7%

- Q14: あなたのお住まいの地域では、どのような地域活動が行われていますか。(現在、新型コロナウイルスの影響で中止または休止している活動を含む。)

(いくつでも)(入力必須) [n=1,606]

防犯パトロールや登下校のパトロール	541	33.7%
交流の場や通いの場(茶話会、体操教室、認知症カフェなど)	445	27.7%
見守りや安否確認	237	14.8%
スマートフォン、パソコンなどの使い方教室	157	9.8%
配食サービス(お弁当の配達など)	144	9.0%
ちょっとした家事支援(ごみ出し、電球の交換など)	104	6.5%
日常的な家事支援(掃除や洗濯、食事の準備など)	93	5.8%
ちょっとした力仕事の支援(庭木の剪定、大きな家具の移動など)	87	5.4%
通院や買い物等の外出支援	75	4.7%
急病や災害時などの手助け	55	3.4%
悩みごとの相談	52	3.2%
日常会話の相手	51	3.2%
行われていない	81	5.0%
わからない、知らない	636	39.6%

- Q15: これまでに、地域活動に参加したことがありますか。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,606]

ある	482	30.0%
ない(機会があったら参加したい) →Q17へ	699	43.5%
ない(参加したくない) →Q18へ	425	26.5%

- Q16: (Q15で「ある」と回答した方)
 地域活動に参加したきっかけは、どのようなことでしたか。

(1つだけ)(入力必須) [n=482]

地域活動している方からの声掛け	99	20.5%
所属する地域団体の役職等になった	86	17.8%
研修や講習、地域のイベント	79	16.4%
市ホームページ、市政だより	78	16.2%
家族・友人・身近な方	61	12.7%
学校の課外活動	32	6.6%
勤務先の地域貢献、社会貢献活動	22	4.6%
ボランティアセンターの募集	17	3.5%
覚えていない	8	1.7%

Q17: (Q15で「ある」「ない(機会があったら参加したい)」と回答した方)
 今後、どのような地域活動に参加したいですか(参加したことがある地域活動を含む)。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,181]

交流の場や通いの場(茶話会、体操教室、認知症カフェなど)	376	31.8%
見守りや安否確認	352	29.8%
防犯パトロールや登下校のパトロール	300	25.4%
ちょっとした家事支援(ごみ出し、電球の交換など)	277	23.5%
急病や災害時などの手助け	265	22.4%
日常会話の相手	189	16.0%
通院や買い物等の外出支援	180	15.2%
ちょっとした力仕事の支援(庭木の剪定、大きな家具の移動など)	180	15.2%
スマートフォン、パソコンなどの使い方教室	176	14.9%
配食サービス(お弁当の配達など)	112	9.5%
日常的な家事支援(掃除や洗濯、食事の準備など)	105	8.9%
悩み事の相談	84	7.1%
わからない	131	11.1%
その他()	17	1.4%

→Q19へ

Q18: (Q15で「ない(参加したくない)」と回答した方)
 地域活動に参加しない主な理由は何ですか。

(2つまで)(入力必須) [n=425]

時間がない	196	46.1%
日頃より地域活動との関わりがない	119	28.0%
自分自身や家庭の事情で参加できない	94	22.1%
地域活動に関する情報がない	63	14.8%
新型コロナウイルス感染症等への不安	57	13.4%
参加したい活動がない	56	13.2%
地域活動に興味がない	37	8.7%

Q19: より多くの市民が地域活動に参加するためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,606]

好きな時に気軽に参加できる仕組み	905	56.4%
情報発信の強化(市政だよりなどの紙媒体の活用)	811	50.5%
身近な活動拠点	534	33.3%
情報発信の強化(オンラインツール(SNS・アプリなど)の活用)	529	32.9%
多少の実費の補填や報酬の支給	489	30.4%
得意分野を活かした活動のみ参加できる仕組み	411	25.6%
リーダーなどの人材育成	373	23.2%
イベントの開催やボランティア体験など	282	17.6%
ボランティア休業などの制度	215	13.4%
研修や講演会の開催	192	12.0%
コロナ禍における地域活動の再開に向けた支援	119	7.4%
表彰などの仕組み	79	4.9%
特になし	75	4.7%
その他()※50字以内	31	1.9%

Q20: 最後に、「在宅での家族介護に対する意識」についてお聞きします。
現在のあなたの家族の状況について当てはまるものはどれですか。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,606]

自宅に介護が必要な家族(自分以外)がおり、家族内で介護をしている	106	6.6%
自宅で自分が家族から介護を受けている →Q22へ	12	0.7%
自宅で介護が必要な家族はいない →Q23へ	1,488	92.7%

Q21: (Q20で「自宅に介護が必要な家族(自分以外)がおり、家族内で介護をしている」と回答した方)

現在行っている介護は次のどれに一番近いですか。

(1つだけ)(入力必須) [n=106]

すべて家族で介護している	33	31.1%
家族の出来る範囲内で介護している	34	32.1%
介護サービスと家族からの介護、半々くらい	26	24.5%
できるだけ介護サービスを利用している	9	8.5%
全面的に介護サービスを利用している	4	3.8%

→Q24へ

Q22: (Q20で「自宅で自分が家族から介護を受けている」と回答した方)

現在受けている介護は次のどれに一番近いですか。

(1つだけ)(入力必須) [n=12]

すべて家族から介護を受けている	3	25.0%
家族の出来る範囲内で介護を受けている	5	41.7%
介護サービスと家族からの介護、半々くらい	0	0.0%
できるだけ介護サービスを利用している	3	25.0%
全面的に介護サービスを利用している	1	8.3%

→Q25へ

Q23: (Q20で「自宅で介護が必要な家族はいない」と回答した方)

あなたが将来、自宅で家族を介護することになったらどのように介護したいですか。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,488]

すべて家族で介護する	15	1.0%
家族の出来る範囲内で介護する	311	20.9%
介護サービスと家族からの介護、半々くらい	483	32.5%
できるだけ介護サービスを利用する	519	34.9%
全面的に介護サービスを利用する	160	10.8%

→Q26へ

Q24: (Q20で「自宅に介護が必要な家族(自分以外)がおり、家族内で介護をしている」と回答した方)

現在の介護状況と比較して、理想の介護の状態はどれですか。

(1つだけ)(入力必須) [n=106]

現在の状態で満足	28	26.4%
もう少し家族で介護をしたい	15	14.2%
もう少し介護サービスを入れたい	63	59.4%

→Q26へ

Q25: (Q20で「自宅で自分が家族から介護を受けている」と回答した方)

現在の介護状況と比較して、理想の介護の状態はどれですか。

(1つだけ)(入力必須) [n=12]

現在の状態で満足	5	41.7%
もう少し家族から介護してもらいたい	1	8.3%
もう少し介護サービスを入れてもらいたい	6	50.0%

→終了

Q26: (Q20で「自宅に介護が必要な家族(自分以外)がおり、家族内で介護をしている」、「自宅で介護が必要な家族はいない」と回答した方)
 あなたが将来、自宅で介護を受けることになったとしたら、家族からどのように介護してもらいたいですか。

(1つだけ)(入力必須)

[n=1,594]

できるだけ家族に介護してもらいたい	56	3.5%
出来る範囲内で家族に介護してもらいたい	254	15.9%
介護サービスと家族の介護、半々くらい	395	24.8%
できるだけ介護サービスを利用したい	576	36.1%
全面的に介護サービスを利用したい	313	19.6%

その他

Q1-2: 地球温暖化対策※1に関してあなたが実践した(している)取組みを教えてください。
 ※1 2つの対策があり、1つ目は温室効果ガスの排出をできるだけ抑制する「緩和」と、2つ目は避けられない気候変動の影響に対して、被害を回避・低減する「適応」である。これらの総合的な推進による脱炭素型の社会が求められている。

[選択肢補足]

※2 太陽光・風力・地熱・中小水力・バイオマスといった再生可能エネルギーを用いて発電した電気。

【その他（25件）】

・	技術士。環境保全計画部門と総合技術監理部門として会社勤務中も海外でのLNG建設環境影響調査も実施した。
・	取り替えではなく、最初からLED利用。自転車や徒歩で移動、厚手のカーテン利用、帽子利用を実施している。
・	地産地消ガスの床暖を使い、部屋の温度を18℃～19℃にし、照明もLEDで光熱費は殆ど上がっていない。
・	今後戸建てへの引越しを検討しており、窓、壁の断熱性などを重点項目として探している。
・	地域周辺住宅環境及び街灯数や時間帯等を調査し、必要性を考察検討を始めている。
・	家電・住宅・太陽光発電等はするも、地球温暖化対策に関するものではありません。
・	ガスや電気、水使用の無駄を省く。ゴミも出来る限り減らすようにしている。
・	起きて半畳寝て一畳。分相応な地球資源消費をモットーにしています。
・	ゴミ燃焼を控えるためにリサイクル出来るものはリサイクルへ出す。
・	予熱なども利用し、使わなくていい電気やガスを節約している。
・	エアコンの温度を夏は高め、冬は低めに設定している。
・	千葉市の健全な森林を維持するための活動をしている。
・	無駄な消費を減らすことゴミを出さないようにしている。
・	従来の電気使用の改善に徹し、節電を実行している。
・	バスタブを保温型(魔法瓶浴槽)にリフォームします。
・	新居を購入する際に、ZEH+に該当するようにした。
・	家庭から出る生ごみをコンポストで処理。節電。
・	ミニ・キエーロを使用してごみを削減している。
・	個人で手近にできることはないか考えている。
・	無駄に水、電気、ガスを使用しない。
・	温暖化対策としては実施していない。
・	太陽光による給湯設備を保有。
・	便座の温度を下げています。
・	弱火でお料理してます。
・	節電。

- Q2: 3R(リデュース、リユース、リサイクル)※3やごみの適正処理に関してあなたが実践した(している)取組みを教えてください。
- ※3 ごみを減らすこと(リデュース)。次に、一度使ったものを捨てずに繰り返し使うこと(リユース)。それでも生じてしまった場合は再生利用(リサイクル)。
- [選択肢補足]
- ※4 携帯できる箸、スプーン、フォーク。
- ※5 ビール瓶や牛乳瓶など、洗浄して繰り返し使われる容器。

【その他 (16件)】

・	生ごみを穴を掘って撒いていたが、カラスがほじくり始め、近隣からクレームとなり、現在ゴミ出ししている。
・	今使っている物に多少なりとも不足を感じても、地球のことを考えて新しく買い替えず、使い続けている。
・	プラ包装に全てに「プラ循環マーク」が付いているが再生されている実態がない(ペットボトル以外)。
・	まだ使えるものだけど不要なものは、リサイクルショップに持っていく。
・	家の立替が一番問題だ。省エネ設備のリノベーションを推奨すべきだ。
・	通販事業者の過大パッケージ・過剰包装が気になります。
・	生ごみは全て分別して庭に埋め、肥料としている。
・	ミニ・キューロを利用しゴミの削減に努めている。
・	再生品ではないが、リユース品を使っている。
・	食品ロスをしないように心掛けている。
・	生ゴミは全て自宅の庭に埋めている。
・	市もプラスチック容器等回収すべき。
・	生ゴミコンポストの利用。
・	風呂水の再利用している。
・	生ごみのたい肥化利用。
・	生ごみ処理機の購入。

Q3: 自然環境の保全※6に関してあなたが実践した(している)取組みを教えてください。
 ※6 本市は都市部にありながら、多くの野生動植物が生息・生育する谷津田・里山をはじめ豊かな緑と水辺などを有しており、自然と調和・共存し、緑と水辺の良好で多様な環境を次世代に引き継ぐことが求められている。

[選択肢補足]

※7 宅地などに降った雨水を地面に浸透させる設備。

【その他（7件）】

・ 福祉ネットワーク委員会と共に、農園で保育園児・小学生児童農作業体験を補助し活動している。
・ 息子とたまにゴミ拾いをしている。40分くらいで45リットル袋が4つ一杯になることもある。
・ 今年は花粉被害が甚大。花粉症やガラス汚れなど。自然保護とは別枠で対処を。
・ 庭に緑を植え、雨水が浸透するように、家の周りをセメントを貼っていない。
・ 不定期だが家族で近場の公園や通り道でゴミ拾いを行う。
・ 自宅の植栽に気配りして、緑化に協力している。
・ タバコの煙被害を減らすよう働きかけている。

Q4: 健やかで快適に安心して暮らし続けられる環境を守るために、あなたが実践した(している)取り組んでいることを教えてください。

[選択肢補足]

※8 光化学オキシダントやPM2.5等の大気汚染原因物質。

※9 宅地などに降った雨水を地面に浸透させる設備。

【その他（6件）】

・ 町内のごみ収集箱をボランティアで作成して地区の環境・安全・鳥獣被害の防止により地域社会に貢献している。
・ 自宅周辺の舗道のしつこい雑草除去に除草剤を使いましたが、止めます。
・ 新築の雨水の浸透柵の設置を義務化すべきだ。後から変更できないので。
・ 除草の管理を定期的実施している。
・ トイレの排水に風呂の残り湯を使用。
・ タバコ反対を働きかけている。

- Q5: みんなで環境の保全・創造に取り組むことが重要とされているなか、環境教育・学習や地域の環境活動などに関してあなたが実践した(している)取組みを教えてください。
 [選択肢補足]
 ※10 環境、社会、企業統治に配慮している企業を重視・選別して行う投資。

【その他（11件）】

・	小学生の息子やその友人に、動植物や環境の秩序の美しさについて、強めの圧をかけつつ、しつこく伝えています。
・	市の環境計画は総花的で具体的な活動が伴っていない。公園や街路樹の樹木をすぐ切ってしまう。
・	仕事が再生可能エネルギーや省エネに関係する業務なので、積極的な提案を行なっている。
・	昨今の物価高騰でどうしても安価な商品購入に流れます。選ぶ余裕なし。
・	スーパーでのプラスチック包装、ラッピング過剰を防止中。
・	町内会での地域や、ごみステーションの清掃を行っている。
・	独自で近所の(自宅外)ゴミ拾い、草むしりをしている。
・	会社での活動の一環でSDGsに取り組んでいる。
・	タバコ反対を働きかけている。
・	何をして良いかわからない。
・	会社での取組み。

- Q12: 次の取組みは生物多様性を守ることに繋がりますが、現在あなたが実践している取組みを教えてください。

【その他（8件）】

・	「雑草」といわれる植物を庭に適度に残し、昆虫や微生物が住める環境を作っている。
・	物価暴騰で、年金生活者は「『安価な』地域の食材、旬のもの」になります。
・	どうして地域の食材を食べる事が生物多様性を守ることにつながるのですか？
・	タバコの煙、側溝に吸い殻ポイ捨て反対を働きかけている。
・	環境に影響を与えないように心がける。
・	季節の花を買っている。
・	外来種の駆除。
・	WWF寄付。

次に、「地域福祉」についてお聞きします。

Q13: 今後、あなたやあなたの家族が高齢になったり、病気や事故などで日常生活が不自由となったときに、ご近所や地域活動をしている方々に主に手助けしてほしいことは何ですか。

【その他（13件）】

・ 日常生活が不自由にならないように、それ以前からの身体的、精神的、社会的サポート。
・ 現時点では、どのような支障が起きるか不明のため、想定が困難です。
・ 全部の項目が、まさにいま93歳の同居母親にしていることです。
・ 介護が必要な家族が強く拒否している場合の、対応相談・支援。
・ 不自由になったら、ちょっとした支援では生きて行けませんよ。
・ 頼む人に負担がかかるので負担のかからない方法を探します。
・ 現在は健康なため何を助けてほしいか考えていない。
・ 助けてと云える近隣自治会の関係作り。
・ 施設入所支援やターミナルケア。
・ 今は思いつきません。
・ ペットの散歩。
・ 配食サービス。
・ 子どもの世話。

Q17: (Q15で「ある」「ない(機会があったら参加したい)」と回答した方)
 今後、どのような地域活動に参加したいですか(参加したことがある地域活動を含む)。

【その他 (17件)】

・	選択肢が高齢者向けで、若者についても考えて欲しい。お祭りや多様な年代の人と交流できる場があると嬉しい。
・	市の脳トレサークル中止で引継いで継続、シニアリーダー体操不可能な高齢層が増えニーズを継続調査中。
・	現在、近隣の高齢者へのゴミ出しや自治会内の「お助け隊」に参加しているため、これ以上できない。
・	上記にはないが、限られた時間の中で、より自由に手軽に小さいことで行えることがあれば行いたい。
・	不自由になると、外出も庭の手入れさえ出来なくなる。未来が見えない不安に苦しみます。
・	近所の人から頼まれてネット通販でのパソコン操作の支援を行ったことがあります。
・	PTAの延長で参加したが、たちの悪い方々が多く参加しなくなりました。
・	使い方教室ができるんじゃないかと思うが、どうしたらいいかわからない。
・	地域の里山・森の保全活動。小中学校の学習支援。
・	今は、高齢者のため参加できない。
・	まちのごみ拾い、ビーチクリーン。
・	動物や環境についての講座。
・	シニアリーダー、百歳体操。
・	公園のクリーン清掃。
・	子育て支援。
・	料理教室。
・	夏祭り。

Q19: より多くの市民が地域活動に参加するためには、どのようなことが必要だと思いますか。

【その他（31件）】

・ 敷居が高いように感じてしまうことを取り除くこと。特定な人しか参加できないというようなイメージがある。
・ 閉鎖的かつ偏見的な考え方を変えない限りなかなか難しいと思う。噂話など鵜呑みにし広げる隣人たちに閉口。
・ 昔ながらの慣習が残る部分もあり、町内会活動に参加しづらいのではという先入観を取り除く必要がある。
・ 参加の心構えの徹底。具体例「決めつけで物を言う」「尊大な態度をとる」などの行為を控えてもらう。
・ ボランティアの活動地域までの交通費や65歳以上の方等への公共交通機関運賃軽減検討と実施。
・ 元気な方の選択はいくらでもある。不自由で動く気力が無くなった方々をどうすべきか？
・ 公民館でイベントを開き、地域の看板にポスターを貼るスタイルは分かりやすいと思う。
・ リーダー、講師の養成恒常化の徹底。センター等で検討して欲しい養成制度を設ける。
・ より多くの市民の参加をという事なら、しがらみ、利害関係のない組織づくりが必要。
・ コロナ禍にあってもまだに特別老人施設等へのボランティア活動が禁止されている。
・ 就職したら仕事だけが全てではないという。ライフワークバランスを教える教育。
・ 認知度をあげ、身近な問題として捉えてもらえるよう、地区毎の活動を周知する。
・ 地域の有名人(行政の方でも可)が積極的に関与している姿をPRする。
・ 高齢家族支援が第一。地域活動は哲学や目標に共感なら余裕範囲で。
・ 参加や実行に対して、強制感や圧力感を与えないようにすること。
・ 万一、活動に際して結果責任が求められた場合の補償体制。
・ 特定の主催者がマウント取るような行動をしないこと。
・ 子連れや介護者同行でも参加しやすい環境であれば。
・ 若年層も参加しやすい活動等の開催。
・ 押し付けないやんわりとした支援。
・ 子供と一緒に参加できると助かる。
・ 参加者本人、家族が楽しめる活動。
・ 参加する勇気を与える取り組み。
・ うるさく仕切る人がいないこと。
・ 参加しやすいイベントや会合。
・ 障害者でも参加できる環境。
・ コーディネーターの存在。
・ 先住民の派閥を無くす。
・ 経済的・時間的な余裕。
・ 市内の企業との連携。
・ 町内会を利用する。